

SUN LIGHT

サンライト

冬号

VOL.
17

発行日 平成7年12月
発行所 筑波芸術園(水曜定休日)
所在地 茨城県稲敷郡妻崎町若菜500
電話 0296-76-3880



雪国の樹シリーズ ハナミズキ ミズキ属別名アメリカヤマボウシ アメリカ、メキシコ産。日本には明治中期に渡来、日本観音の木として知られる。

今年もあと一ヶ月余りとなりました。前号でも述べましたが、本当に大変な一年であったと改めて痛感いたしました。

新年早々の阪神淡路大震災。三月には地下鉄サリン事件。これに続き一連のオウムに対する強制捜査と逮捕劇から裁判。多くの報道からはあの地下鉄事件以来一日としてオウムの名を聞かぬ日がありませんでした。坂本弁護士一家の箱まじり事件。10月には麻原容疑者の初公判引きのばし疑惑など驚くことばかりでした。また、銃による事件も多発いたしました。八王子のスーパー銃撃強盗殺人事件や釣貝店店長殺人事件、警察庁長官狙撃事件など世界で最も安全な国がどうしたことでしようか。銃を取り締まる警察官が成績を上げるために暴力団から拳銃を購入、あたかも摘発したかのように見せかける事件まで起こるなど、これだけ大事件が続出した年は記憶にありません。残りの日々が平穏で今年の最後の月だけでも、良いニュースの出現に期待したいものです。

スポーツの世界では既にシーズンオフに入り、今年の総決算が終わった種目がいくつもあります。プロ野球、日本シリーズは4勝1敗でヤクルトが日本一に輝きましたが、何とんでもスポーツ界最大のニュースは背番号「16」野茂投手の活躍だと思えます。大リーグ日本人投手としては二人目ですが、13勝を上げ、オールスター戦にも出場、新人王に輝くなど目覚ましい活躍は今年一番の明るいニュースでした。地元のアメリカでも日本に劣らないファイバー振りのようでした。パナナボートの替え歌のノモソングが大流行し、スタンドで三振のたびに歌われていました。昨年のストライキの鬱憤を一気に晴らしているかのようでした。そんな光景に日本人の一人として鼻が高くなったような気がいたしました。ところが、大リーグが各地のブレイクオフに入る頃、金融界では大和銀行ニューヨーク支店から未曾有の大事件が発覚し大騒ぎとなりました。この手の事件は過去にも何度か起きていますが、金額の大きさと、組織ぐるみではないかという疑念、そして、今、日本が巨額の不良資産問題で世界中から冷たい視線を浴びていることから大きな波紋を引き起こしています。そして、この事件が発覚してから銀行自身の公表の遅れ、報告を受けた当局の指導振りの不透明さが海外からの批判に油を注ぐ形となり一層後味の悪いものとなりました。

不良資産問題に関してマスコミにも多く取り上げられています。このことでまたまた嫌な気持ちになりました。世界第2位の経済大国が自国の金融政策を決定するのに外圧がなければ容易に譲めることができないというところに不満を感じます。過去の重要な政策決定の時に外圧によって行われたことが何度かありました。リーダーシップ不在を感じ、やりきれない思いがいたします。

今日の日本は国民が本当の姿を見失っているのではないのでしょうか。バブル期には自信過剰と思われるほど活気に溢れていたのが戦後最長の不況といわれ、いちように意気消沈しています。貿易摩擦にしても自動車は輸出額の17%に過ぎないと言われます。70%程度の輸出品は資材材といわれる部品なのです。これらの優秀な日本製の部品をなくしてアメリカの携帯電話も台湾のパソコンもできないと言ってもよいでしょう。自信過剰になつて傲慢になることはいけません。あまりに自信を失い、がっかりするのも考えものです。皆様にとりまして平成8年が良い年になりますことを心より祈念いたしております。